

道の駅あびら D51 ステーションのオープンに向けて ～町の動きをお伝えします～



道の駅建設現場（2018.7.23 現在）

「道の駅あびら D51 ステーション」の指定管理者基本協定書が結ばれました

7月3日(火)に、町と一般社団法人あびら観光協会との間で「道の駅の指定管理にかかる協定書」の調印式が行われました。

両者は、平成28年11月に「道の駅あびらに係る運営・開業準備の協議に向けた協定書」を結び、以来、1年半にわたって運営手法に関する事、販売品の検討に関する事など、約20項目にわたる細かな協議を進めてきました。全項目の協議が終了した今年の3月には「協議終了書」が取り交わされ、5月にはあびら観光協会から町へ指定管理者の指定を受けるための申請書が提出されました。

その後、6月21日～25日にかけて行われた「平成30年第4回安平町議会定例会」において、あびら観光協会を道の駅の指定管理者とすることが議決されたことから、今回の調印式に至りました。

当日は、観光協会から小林代表理事、田上専務理事、高津事務局長、町から及川町長、村井副町長、地域推進課道の駅経営推進グループの職員が出席。及川町長より、議決についての報告があった後、観光協会的小林代表理事からは、商品開発の加速化など今後の展開について方針が述べられました。



「道の駅の指定管理にかかる協定書」調印式

うまかまつりでの道の駅 PR

7月7日(土)～8日(日)に開催された「第10回あびら夏！うまかまつり」において、一般社団法人あびら観光協会や道の駅あびら D51 ステーション生産者協議会による道の駅 PR が行われました。

まつりの両日、あびら観光協会からは、道の駅オープンに向けて新規開発された「特製豚まん」「豆乳コロケ」「長いもフライ」が販売されました。いずれの商品も好評で、購入者からはフライの食感や豚まんの味の良さに関する声が多く寄せられたことから、同協会は目玉商品としての手ごたえを掴んだようでした。

また、同じテントにおいて、道の駅あびら D51 ステーション生産者協議会による農産物の即売会が行われました。来春からの道の駅販売の予行練習を兼ねた今回の即売会では、生産者自身による包装により、トマトやいちご、お米や豆類、更にはジャムなどの加工品にいたるまで様々な商品が販売され、新鮮な農産物を求める多くの来場者を喜ばせていました。

このように、今回は販売をとおした道の駅 PR が行われましたが、町外からの来訪者の中には今回初めて道の駅の情報を耳にしたという方も見受けられました。より多くの方々への情報発信のため、今後も、あびら観光協会や生産者協議会による PR 活動が進められていく予定です。



うまかまつりでの道の駅 PR ブース



生産者による農産物の搬入

この記事に関する問合せ

地域推進課 道の駅経営推進グループ ☎ 7083